郷天軍第二軍が出

一部する緑緑が応むしてなて現在進行中の中央 共黄河 以北は東北軍以南は中地方の派遣で一般落を告げるのであるが 東

了る

振る智

奉軍第二軍

今明日中天津へ

第廿三旅續々入津中

軍の警備隊

けふ天津を引揚ぐ

75

奉天軍の

はまだ義縣に在つて出跡の機様が

奉天軍の配置

を封鎖

冉起の基礎

か

古

はこれ

を默

は日下開封に向け途縁中

掛げた。帰くて天津は

路支正式交涉

三十二日

遷延は兩國に不利

以蔣派張學良氏に通電

こ次通電が法目されて、

走

所外事権を調査し、

で更に交通の面に當る で更に交通の面に當る

について

本年度江三萬

都次其意

教を實際化しつうある

郷人の穀粉だと思ふ。

株に大連海戦舎 を調整し得べき観点と準備を整ってなり、前数が絶えず脱底 をできまするが全種でであるが全種でであるが全種でであるが全種でであるが全種でであるが全種でであるが全種でであるが全種でであるが全種であるが全種であるが全種であるが全種であるが全種である。 一にしても、現外地方に配のですが、一般によっても、現外地域であるが全種であるが全種であるが、一般であるが全種であるが、一般によっていては、空速な文書研究の外には、一般によってあるが、一般によっている。 一般によっているが、一般によっている。 一般によっている。 一般になる。 一般になる。

り得る所以でない。 り得る所以でない。 り得る所以でない。 り得る所以でない。 が思想が自己を対する事が形要が、大き、関係ではいって職種師に努力する。 にがして自り好き服態にある事が形要が、内地 がでながら、手を拱いて地方が のがでない。 の変響するが遅まから、 を加りながら、手を拱いて地方が のがでない。 の変響するが がは、 では、 がは、 では、 がは、 ののかでは、 のがでない。 のがでない。 のがでない。 のがでない。 のがでない。 のがでなが のがでない。

四個大阪の質問ですが地形後の質問ですが地形後の質問ですが地形を知りたい。

事等は北浦ホテルに投稿した をなって取り、七時から東支世樂 部における搭統製に嘘んだなほ母 がなって取り、七時から東支世樂

大 山

拓務群令 【山京二十五日 宣称主計大川

まるかかり

命長官々房秘醫課長 「開東馬官秘醫育(五藝) 参任開東長官秘醫育(五藝)

たることを認めるか たることを認めるか たることを認めるか で日本政府の根本方 すて決定してゐる、それがロシヤ人であっても 良しいさその話は今 新ららく汚いたさいふこさは知

らから

本機構造大原氏(海務局海事限長) 二十五日午前八時入港の天禰丸 二十五日午前八時入港の天禰丸 二十五日午前八時入港の天禰丸 二十五日午前八時入港の天禰丸 二十五日午前八時入港の天禰丸 二十五日午前八時入港の天禰丸 二十五日午前八時入港の天禰丸 二十五日午前八時入港の天禰丸

▲小山貞知氏(高級計員) 同上 ▲久米正鮮氏(文土) 廿五日午前 、八島平入港のばいかる丸にて米 連

歐亞連絡の

圓滑完成を希望

東鐵幹部外交圈招待會上

仙石總裁挨拶要旨

真之助氏(松竹映谱監督)次郷氏(文士) 局上

十月十一日モスクリで開くに決し 政府外党部は衛史交渉正式會職は

露支交涉成立發表

大観・小観・小観・小観・

今度こそは見物の無体めではあ

孫文の故智に他ひ太郎政府を製

夜 t

古

ハハヤコヴァインネア インネカレー ズカラー ズがり 個ト

に對し挨拶懇親のため

露記者團との問答

大も同じだ、人間は 一世来ね、この動は如 でのは不完全でその

でなる。 なながある。 なながある。 ないである。 ははいないない。 ははいないない。 ははいないない。 ははいないない。 はいないない。 はいないない。 はいないない。 はいないない。 はいないない。 はいないない。 はいない。 はいな。 はいない。 はいな。 はい。 はいな。 はい

市政諸問題に當る
・ 大連市會の中正仏崇都では從來中一會の吹戲、繼長熊飛連朝等に就して上張樂都さいふ名称こそあつたが一一珍剛線して紫新仏樂都に繋がすて正承樂都さいふ名称こそあつたが一一珍剛線して紫新仏樂都に繋がする近、 大連市會の中正仏崇都では從來中一會の吹戲、繼長熊飛連朝等に就した。

中正俱樂部結束

記者 世界的不況は今や 健我 と京都は知何に等 なく各種関係で、これ なく各種関係で、これ

の目的は

佩鐵總裁

づ志士の碑に詣づ

訪問の

化ミ 東オ カルーソーン カルーソーストース

瀬踊の夢農官道、散たつとく。

また郷野常順に亡命が死してあ

ロシヤ

衣笠貞之助氏談

マンドに行って脳の脱れも木だそ ウンドに行って脳の脱れも木だそ ウンドに行って脳の脱れも木だそ

までは、 までは、 までは、 までは、 までは、 までは、 までは、 までは、 なが仕事の都合で決つてもまでいてであるなくてよ。 なが仕事の都合で決つてもませるか仕事の表す。 を大きなかれるとなったに行ってかない。 なが、 を大きなが出る。 なが世界の原稿の ないでする。 なが世界では、 ないでする。 なが世界で決つてるませるが出来で は、 なが出来でする。 ないでする。 ないと、 ないと、

遊び方を研究

久米正雄さんの話

他の出版社が

IJ

0



雲術界の花形を載せ 賑かなけふのす

二十五日の定跡艦ばいかる丸は交鷹の世壁、大米正雄氏、大穀倒和さして知られた大佛大郎氏、洋行彫りの松竹吹郷監督交響真之助氏といて知られた大佛大郎氏、洋行彫りの松竹吹郷監督交響真之助氏といている。 かる丸の土産話

八季招魂祭 ける嚴肅に執行

がゆなくて突然専用を告げる瞥一機時れの空間渡り朝来打掛げられ、簡の膀胱製仕に編まりにもたさころで、単に で高い買の 上に現はれた百 戦は二十五日午前十時代がも極め 人、聚性、管公吏、一般市民等の であいまするで、単に 中央公園内思療塔の秋季球球系(る態火に無奥派分を高め遺談、軍が最大国層の状を裏したシーン 中央公園忠靈塔にて

けよ入船のお客 誰代、厚一條樹事が

久米氏ご一緒の大佛氏

全滿庭球大會

参加は七チー

組合せは當日會場で

【本社主催】奉天で擧行す

日本樂壇も

歌手、日本有數のリ

获野女史來連 海路來達したが女史は 女史は 学表家吉原・干値 女史は 学表家吉原・干値

の願で

山梨大將愈よ 閉式したが、

法廷に立 問題の朝鮮疑獄事件 あすから公判開廷

と身でもした歴士大井戦権でも)に戦権を 変久神様でも)を蘇長をでき、ル戦権を 変久神様でも)を蘇長をでき、ル戦権を 変久神様でも)を蘇長をでき、ル戦権を なり、からない。というない。 告慮さしては常日送話に立つ者は

無比の激

滋養强此

有松葉の粉末 るむし 酒 祖元大連市 小松家瓣總本店 三星数しまず

何梯小内 人兒

あま酒の御器売金元酒店 集町四ノ 911十一四

東京八百後製 明太子入荷 ハルピンす 徳島名物干鹽味噌 百岁 金丁 三二十餘種) 好評

時代、百々或、百々一之多士債 かな孫心か離る繁鋭以下百々信 がな孫心か離る繁鋭以下百々信 熟さ力の迸る戰線も華や い、レザユウの日本化 ― 翻画 b 数:

市長、一信職その他の機、花職な 方に依職との他の機、花職な を取めた

かき女カフェー 安東縣三 の主とドロン 香頭り金 を機修数放政等にて松本タマ(こ) はまる廿一日午前十時ごろ同地のはまる廿一日午前十時ごろ同地のはまる廿一日午前十時ごろ同地のでサ五日標はより市内各級

に」の題下に講演會を開くさに」一个は二十六日午後一時から生徒では二十六日午後一時から生徒では二十六日午後一時から生徒では二十六日午後一時から生徒では一十六日午後一時から生徒

御來談相成度外社廣告展覽會開 及女事務員)を募集教候間希望者は本人既告展覧會開催に付臨時事務員(能筆の路・時・事・務)員・募集 滿洲日報社事業部

品質日本二 外に左記、福引券 百內省御用建 詳細は側近所の販賣店で御間せ下さい 五枚組)五等迄 7 サ 醬油株式會社 尚

個相續人を仕立 土地横領の 元民政支署員と 愈よ有罪ご決定す 惡事 學堂教員ら

するさころは古い日本語

105 職問職会沖師匠の2

三日松端前記三名は在栗さ決定公 「株不売分で集電税旅さなつた。「南非常は大連地が出場に爆撃 た大連市総率町三五番県常時郷子 た、同非常は大連地が出場に爆撃 た大連市総率町三五番県常時郷子 にかった 「戦に附され、一時戦後をかけられ

官有土地貸下不正事件

の關係者五十餘名は去る七月下旬。 一件書類檢察局へ 四百枚に達す尨大な豫審調書

おいるので無対所では健康が では、大口で養行する事さなった なほ山型機能は暫く解金終致中で あったなめ出述するかどうか強ら あったなので無対所では健康が二

共犯被疑の佐野 無罪と判り釋放

日本経済のであることが使用したので、戦に 日本経済となったもので、戦に 日本経済となった。 日本経済

x 光 規 博

亦ウイロー

五六〇〇〇 *±



はない。 ははぞくくさこみあげる迷い。 は他にませて、実しい女の鍵に でなが無つけ下さいます!が臓に か不在につまづき、よろくくさも かれにつまづき、よろくくさも

● 腕 一本

塗り立て

の機五郎が任後 大な報復…… 大な報復……



夜一点。





突の眸

の美を



費・一ケ月金壹回也明納

華山」連束県栗稲部八八英村遼秀

语合

中央放送局懸賞壹等當選品

內地放送聽取自在

h

ぞう

新コン

蓄音器兼用型

放送

九月廿五日封む

月賦提供加中込次第型錄進呈







に身を歴せて、学院きの銀殿を報。 のある文金島田に派手な機能を のある文金島田に派手な機能を は、 陽光を避けながら美しい

は、郷者の既へ逃へ入 送では演藝 銀鈴少女會

大連艦場に出版中の遺観嫋レビューを変が、正二郎は漂元舞脈製で奥布・ をが、正二郎は漂元舞脈製で奥布・ 変の演出法に新鮮味を加へ又地がましては機響らず美栄會連が出版。こしては機響らず美栄會連が出版。こしては機響らず美栄會連が出版。ここであらう酸なる脚目は左の娘く・

学式像生掛 四前線解傷版大 店器銅口井 番ーも〇二一版大替版

無電池式ラジオ受信

機

好

評

絕

大

は信

用

横造-計算-盤官

宗像建築事務所

電話三回九五

電話代表五〇六二番

品 大伏于于八条二二百一 仁田三百百颜百 五 小鐵五十十十十十 丁丁附即山 即即即阿 3



ミエトーレス綿石京東 製造 との二幡戸江原橋本日市京東 第五一五四・五一五幡本日記載



滿洲發賣元 大連市惠比須町



るる美しいお歌さんの姿を御覧と あの似み楽屋を御覧なせえまし、 あの似み楽屋を御覧なせえまし、 あの似み楽屋を御覧なせえまし、 ものがみ楽屋を御覧なせえまし、 なる美しいお歌さんの姿を御覧と

滿日勝繼春戰

ツー土 | 一

産業エト

・ワイルド氏ウイガン・レイス氏でイス氏がイス氏がイス氏がイス兄弟

リス記であった。一九 は支那の輸入概中一脚

割から二部六の郷土分はイギ

英國から來る

を超出で日本へ来る。日本へ来るのは日本の影響をいふこさになってゐる。日本の影響をの談集に難する

な、一点は、一点には、一点によって、一点によって、一点によって、一点になって、一点になって、一点になって、一点になって、一点になって、一点になって、一点によっによって、一点によって、一点によって、一点によって、一点によって、一点によって、一点によって、一点によって、一点によって、一点によって、

現に起席サー・アーコ

極東通商使節

何れも一流の人物

発上げし賞飾されるものさ

で、經濟委員會は光づその提準上のが脱より着手すること、なり、ドイフルを影響すべき接往、その公義等に関し興食研究すべきことな決論したのれた影響すべき接往、同際解工業協定の地位、その提得上の経際、こ代政治して企業の國際的トラスト又はカルテルが力説されたのであるが、管理さして企業の國際的トラスト又はカルテルが力説されたのであるが、管理として企業の国際的工業協定。 国際総派會議では産業の合理化が呼ばれ、その一つの

東京 関野方造公全 一致推薦の 郷を記載氏監測した 郷を記載氏監測した

を除し数する大連旅園館の説明する を除し反繁の課職をなしてゐるが ないでは、一般では、 ないでは、 ない

て前東壁に壁し張上不可の準は、の仏役標金の人物形加を総じて来れた頭音した連貫工を勝所を超るが継ばか司さして一般立都被顕して、世紀を明立した連貫が成立した。 かける仏役様は他の常願のそれには野桜の好く大連被巡覧を含に、かける仏役様は他の常願のそれに連渡場の総嵌仏役科人物塔加段。 かられて居る、前して大連深風に

迫か

5

世役料引上問題 結局實施を見ん

浦港の荷役、順稅等三倍に上る 前週中長江沿岸近日に向け銀元九 野議員 安坂岩雄、荒本太郎、 大下寅音、大軍駕、山田民五 下、山口雄作 銀の移動 農作物買付資金 「東京二十五日景電道」日銀では 東の第一回の會合を得り意思では 東の第一回の會合を得り意思では 本郷したとなり二十五日正午より かいした 十五萬島の移出があった、右ばよ さして織磁及び米の配信委会にし て今後の時間不安。以来館に特徴 所は開報百八萬州南方へ観元五十 間は明報百八萬州南方へ観元五十 產業合理化 金融方面から 銀行家第一回

天地部園の報告職が、一部のはころな一寸失敬) のも支那らしい、ことのさころな一寸失敬) のも支那らしい、ことのさころな一寸失敬)

返せ返さぬの大論判

天津税關の奪

ひ合ひ

趣旨は結構だ 實行は困難 輸組仕入部案に關し

製に激躁を含ては微いない。 一般であったとして輸入組合にという。 に激動がを輸入組合に激励するを、 に激動がを輸入組合に激励するを、 に激動がを輸入組合に激励するを、 に激動がを輸入組合に激励するを、 に激動がを輸入組合に激励するを まりである。 高速事事長はこれについて左の如く を まりである。 高には、 のかしてこれが 会になっためる。 高には、 のかしてこれが 会になっためる。 であったさころ、 高には、 のかしてこれが 会になっためる。 であった。 これが 会には、 を まりたののか。 のかした。 になっためる。 であった。 これが とでこれが とでいてためる。 とでいたが、 とでいてためる。 とでいていたが、 とでいてためる。 とでいてためる。 とでいてためる。 とでいてためる。 とでいてためる。 とでいてためる。 とでいていためる。 とでいていたが、 とでいてためる。 とでいていたが、 とでいたが、 とでいていたが、 とでいていたが、 とでいていたが、 とでいていたが、 とでいていたが、 とでいていたが、 とでいたが、 とでいなが、 とがいなが、 とがいなが、 とがいなが、 とがいなが、 とがいなが、 とがいが、 とがいが、 とがいが、 とがいが、 とがいが、 とが 神成輸組理事長語る で観られてゐる とで想會な際くこさになるだらう 然し商謡の相談に對して私の方 であるから各組合でごういふ意 向なもつてゐるか、こちらで纏 める筈である 事務引継ぎ

船主の負擔は六分

大連海關側の説明

で削組令長和田祭三郎氏江二十四日組合事務所で左の通り事務の間。一会一千七百八十八四四十四銭 かし 比 味多ぐして給出には最も源

東級の中村伊三郎氏は大阪屋に変が 変一氏に内定し来月中研究屋の ななり後代は大阪屋の のであると ななり後代は大阪屋の のであると をなすり後代は大阪屋の のでは、 のであると のであると のであると のであると のであると のであると

部エキストラスアンシイさを混合能に區別する総も南洋輸出さして程に區別する総も南洋輸出さして程に區別する総も南洋輸出さして してファンシイさなも二等品の わるのである

苹果の南洋輸出

二ギルター高くさし黄行数量は最高に続くし他の品より一程一、 は酸味あるものか好み土人と支那 人は脱味の巻きものを続む仍って 北の鑑に名称を製にするのである。 まつて容器には名称と記入して之れによ なって容器には名称ところである。 回人さ土人は非職婦を疑 南洋の嗜好 を美にし食人

藤田商會主の講演

・ 共の紀の大きば米國同様正味四十 で地震高は七萬般さめるのである は北も新す即ち左の城しより城り大なるものは対まず中城 スラバアヤ ニ、五一二、七五郡 苹果の大さ

大連より神戸までの運動に割下げる

「四で高過ぎるので四個に割下げる

このこさであったから、意地支底

このこさであったから、意地支底

このにはでの強出を援助するため、満地支底

はいからならず、登地支底

はいからならず、全蔵

「おったがら、では出来り

糸布保合 楊

ちオレゴン、ワシントン、イダホ トンピピンは競色にして加州は九 川に納め四月に終り西北部すなは

す、其主なる種類はワイ

過過の積荷

仁照照照



井 内和 醫院

債券賣買相場

| 日清汽船数出帆 | 日清汽船数出帆 | 単度

大阪商船(株式大連支店) 東湖有掛所(大連市山縣通) 東湖有掛所(大連市山縣通) 東湖有掛所(大連市山縣通)

無いなる。 無いなる。 無いではないが、 無いではないが、 があった際ではないが、 があった際ではないが、 ではないが、 があった際ではないが、 ではないが、 ではないが、 を表してはないが、 に成うる場合ではないが、 にが、 を表してはないが、 に対して、 を表してはないが、 に対して、 を表して、 をまままなで、 を表して、 を表して、 を表して、 をままなで、 をまなで、 をなで、 をなで

条は支那の他人の範

の茶・酸止されて仕 関東ばかりでなく誰 と

ーやうなこさにはなるまかに口釈理局長の故智に が取りが悪の厳止でお

話士三

を して探けやするのです、そして毛板に かけやするのです、そして毛板に ついてぬる値を深してしまへば治 が なるのではまた二三ケ月で生 して探けた形はまた二三ケ月で生 して できるのです、 窓際機 毛膜され

を持つ野親さ色彩を現はしたもの に金観的なざの窓をかぶせ続け、 に金観的なざの窓をかぶせ続け、 は大力監視がは一個樹里で掛きその上

製の加玉を翻は職職の

だい、最も位置力の弱いのは確で繋が之に次ぎ、フ行せられるこさが強く、其の弱いものほど保護力配のが料は其の能験力の強いものほど保護力能のが終める。

E

大 切

ではく気の大人の口輪の部や下 いの所に吹出物がで、郷々治りに がで、郷々治りに

一門のお啓者が此の疾は十日目さか 一週間は一下変られさ言ふのか待ち

ことでの可郷性感したい事は暮

にかき過ぎを超し着る所か火像をまつて又縁をかけてもちつたため

予自作に限る

つやがなってゐるがららし

の春以來斯鈴薯を権るたり、南京 の春以來斯鈴薯を権るたり、南京

「油繪と箔の帶

橋を用いたころに の東線音見氏などが

松山畵伯が装飾美に新表現

感覺の淸新な」

与三越突服店の二階で開催され 出身で北京美術學校教授であつ

手殴さして

口

清款

目がで現せばざつさん萬三千覧は「三萬九千五百四十七覧知」といいて見るさ牛が八千三」そこで内地が配に帰出される際は

日光と土に親み健や

春日小學校の樂しい兒童農

は日の駅かの中に放てのみ値かに

大連人が一年に常費する顕戦を

しまふのである

を からず影響する、支那正月ださか 中秋端ださかいふ時には一日に四 五百鮨の豚を慰るこさも決して影響する、大郎正月ださか からず影響する、大郎正月ださか から しいこさではないさいふ

いが大学は大連人が新たり焼いた 内地が間に輸出されるのも少くな 内地が間に輸出されるのも少くな

日本語は

カタカナで!

るはわま

CID

き云ふのではない。

脱ふ。姚毓特定の間のどの

NURUSIMAK

ヨシタケ・タケシ

屠殺敷は五萬六千餘頭に上 二貫六百匁

大勢で、現在原場で願いてゐるの「牛豚肉をたべるこさになる場は仕事が大きいだけに從事就も「除るさ一人が一年に三野六百效の大連市民の際の料理場である原料」かりさなり。大連市民の曖昧に謝 市営屠場を窺く

上、大人が九萬八千八百百級 あの足能へも及ばないたことに然て等下十四五度に徐厳 るのであるが輸出動はまだくいれて、に然て等下十四五度に徐厳 るのであるが輸出動はまだくい 生徒の天分を

大地 あたりの歌歌はしい ちでは肉が好いからである。「大地 あたりの歌歌の最も例 からではり からであらうさ言いなこである。「「「「「「「「」」」」がある。「「」」が、それはこち

以先づ場長が一名、書配が一名、 おいこ名、や関手が二名、小使一番出帯が二名、や関手が二名、小使一

發見する喜 大量生産的教育から救ふ 岡田初衣高等女學校長談

ガツタリ海ちるさうだ、それから

単位を出るさいふこさになるのではないでせないでせずか、それから現は、 大概性膨脹な教育に大いなる劇話。 た見出してゐるのは穏の単校に入

では、他の學校には約三百人の生徒を敬容 な、とはまこさに有称です、現在就 な、とは、とは生徒数を奏くしたくない をでは他の変撃技なざてやつてるま ない。他の學校には約三百人の生徒を敬容 ない。他の學校には約三百人の生徒を敬容 ない。他の學様なざてやつてるま ない。他の學様なざしやつてるま はしくなつたのが誘躍によって共 なつて他の単科の成識も欠第によ くなつたさいふ僧もあります。こ くなったさいふ僧もあります。こ はは、かうした修製學科によって 生徒の継続に落つきさゆさりが出 来るためではないかせ思ばれます生徒の線神に都つきさゆさりが出

なり、それさ同時に他の學科が概然であるされるに一つの學科が優然であるされるで、それさ同時に他の學科の版にに天分を發展してゆく上に歴の學校のやうにないかまます、このやうな生徒の成にた天分を發展してゆく上に歴の學校のやうに 生徒敷の少い

て三古が影響に整かかけた。 て三古が影響に整かかけた。

こうの上に配合いものがあるよ

つた。太郎は郡る郡る頭が御を こ事駒の松りに他の忠徒さ同じ 開けて見た、乙三つ成五つ、太

即はお母さんが「こがわったら

路の中に立ち止まつた。その時常の中に立ち止まつたことを想ふさ 止まつた。その時

歌のがへ行つた。 歌のがへ行つた。

るのでない。是な原因から云へば い。共の人にはピマ云ふ部がない のである、カナ遭ひに無關心な人 はどの壁りにブさ書く。ローマ女 中のがくかお師に発極の酷だがあい なん。 事態之教性

3

当が正

鑛山用、

陶器用、

シケラツク並に染色用、織布用、

工業薬品 輸出入商

示物料理

高級籠詰

階なりに平線で口を加過させて の縮い中で質りに来た泉子を貸 の縮い中で質りに来た泉子を貸

FILMBIAS

大に着へなければならないのは玄眼の臓をの吸動力 大に着へなければならないのは玄眼の臓を持ち、 である、此の座合が又雌鷹鹿部に至大な顕像を持ち、 である、此の座合が又雌鷹鹿部に至大な顕像を持ち、 である、此の座合が又雌鷹鹿部に至大な顕像を持ち、 である、此の座合が又雌鷹鹿部に至大な顕像を持ち、 回町河三市建大

を構造の職部を能らうさするのである、かうした目的な対検を作り、之によって皮膚から脱失しやうさすい、な歌を着るこさに皮膚さを歌さの際に人だっておきな歌を着るこさに皮膚さを歌さの際に人だったが、を歌を来の目的は鬱霊の歌歌であ 力 吸

ちもよほご考慮しなければなら 特に映画館などでは観客は殆ど 程中流車部的混估市造 院醫并幅 借九五八四語電

K 14

衣服地の選擇

かけぎ合つたりしてるる。 を注ぎ合つたりしてるる。 を注ぎ合つたりしてるる。 あること

料味調ノ進 義 野 阪手一州 盤盤

永久に味の 香の良い 世界で一番 発明品 食の元 変らない

優良なる製品は 先っ信用もを弊店の「十牛車印」薬品を御使用もれ 漂白用 其他必要なる 優秀なる薬品に依り生る

大阪市東區伏見町三丁目廿六番地

本局 (一三六一番 振建 二五五八七番



口「御園石織の泡が

X外内 料·北柳病 光·棕柳病

ふ養を肌。く高語言芳

ロ「イヤニ的いじや

「ナニそんなでも

馬

B

BDI"

MT

到

粉サ

(#=

僅々一年の短日月間に

面目を

新した町

された、常時民會の致力は順名を記さするの時発達した、四十年日から公立小学校と常い版した。四十年日から公立小学校と常い版した。四十年日日から公立小学校と常い版した。

等の奥地に日支合統

特産全盛は明治四十二年

邦人移住後の波瀾の跡

廣洗堂氏(B)

たのは賢明さ云ひ継く響ろ屬根を

校を建し一萬間の代徴は學校新聞して満城に渡り、東益のない

888

0088

み切れり

四〇(昨年に松樹の十一米〇三) 一般の十二米〇五及び長春の十一米 一般の一分十七巻六) 慰え後で松

間議戦会會各地協来職 をなり六時戦戦者を開き があれる六時戦戦者と開き があれる大時戦戦者と開き があれる大時戦戦者と関き があれる大時戦戦者と関

△一着 白銀森川(百米)堀(四百米) 百米) 西川(三百米)堀(四百米)

視察園のお客様」

一萬四千五十六人也

月から九月二十三日まで

議員會

△三者

全奉天軟式

庭球大會

優勝戦は廿五日

月段者爭覇

回八七六七

一六 奉天一祖 沙河口道

酋大軍優勝

全轄天戦式底球大會は廿四日午前 れたが常日は像脈戦まで行かす日 れたが常日は像脈戦まで行かす日 でなったため廿五日午後三時代 から顕行される響、廿四日勝つた 組は 個関區、地工聯合、奉天興

はり過率減竭子へ 二十三日夜連

二十三日大連より

-六個風長 二十三日來

全奉天野球大會了る

は遺優勝戦で魔軍に勝つた

一路ではたが完備よく大機戦を滅じるであった命そ

のスコアセメンバーは左の通りで

(一五 線 房店 一五 線 房店

の感想

四段以上は州内勝ち

名州外は四股以上の優勝万筆鄙眼は 世野代、州内外征者連揃のの高院者 試合だけに観彩定城前會場にて 野代、州内外征者連揃のの高院者 がけ立端の餘地なき盛況を呈し定 がはなるの際地なき盛況を呈し定 がはなるの際五名五股十名の遊覧力

0

一回戰 一回戰

安日社並に本社率天安社共催令率 は世四日午後二時から新グラウン は世四日午後二時から新グラウン ドにて影多(歌)吉田(歌) 融衝 がの下に繋形成で繋行された監日 がの下に繋形成で繋行された監日 をかけています。 を表現して試合が続けられん回ま を表現して試合が続けられん回ま を表現してはなって二點を得て同點とな が成り、本社等間メ をかその他多歌歌品が概要され五 沿線小學校陸上

13

司岡部本石原田田届 3 A 468129F村岩中 753

5A計4

競技大會の成績 二十一日午後三時代家雨のため情では1982年に一日午後三時代家雨のため情では1982年に一日の家なき二十四日北京で、ファン

也、哈爾濱、本溪湖、朝日、 本、哈爾濱、本溪湖、朝日、 東京、撫順普 本、灣城、數島、 圖、橫順、連山關、鷄冠山、 原書 大國旗、秋空になびくな大國旗

88

第三回窓線小學校と 中四日機幅の經校送飯日和に悪ま 十四日機幅の經校送飯日和に悪ま 中四日機幅の經校送飯日和に悪ま

高久松古山

鞍山、本溪湖、奉天敷島勝つ

陸上競技

翻な成し髪ある優勝族を得く物に対している。

部下ご共に遂に捕る

り継続天敷島谷校に集める像殿か がにメダルが授集され午後二時五 がにメダルが授集され午後二時五

国際店の二分廿六秋六(昨年口四 東され午後二時中間會した、解今 東され午後二時中間會した、解今

日を現て始めて解放を決行し、同放を観光し、三十九年の二月十二

めつて民

像したる上更に満南に新設するに 及んで大陸氏を楽して窓に緩飛に た日安合排緩縮電蛇局は何の選作 なく全市に架勝送電したが、更に なく全市に架勝送電したが、更に なりをが、地山城子、双城壁 というというという。 は、大を紅、北山城子、双城壁 は、大ち紅、北山城子、双城壁 は、大ち紅、北山城子、双城壁

とない。 をというでは、 ないでは、 ないでは、

平

街

解的である。

| 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 場せる戦山小學校選毛は、歌師 全演に跡を唱へ、光輝める優勝

秋

70

是ロ背非メの

御ナ

文1

野F

FIS

tis

3

3

の照焼 カフエー

3

秋は先ず弊店から オール アルの 弱王 洋犬セール ブドモスリン界の 弱王 グロリー クレモスリン界の 弱王 グロリー クレモスリン界の 弱王 グロリー クレモスリン界の 弱王 グロリー クレ

めの領針期、

皆様な御待ち

近原为木

江

屋

海陸鮮 物軍無

井町

類電波 正 物 百座 大三日

幡 . 語商二 書會



から 味噌製造 濃瀬類製造 運体軍器官価 選 用 用 選 造 音磁 二 村

|| 古 村 高 會

が全生能は無日整概を練習に制研 が全生能は無日整概を練習に制研 が全生能は無日整概を練習に制研 が全生能は無日整概を練習に制研 が全生能は無日整概を練習に制研 を表示する 來月十二日頃 鞍山運動會 二十八日舉行 新 一、日本毛織會社製一、女學校制服地

YOSHIMURA JO

旅順 今 るびすや吳服店

一、特製男性生服でセーラ型

餘興で脹ふ

千山神祭の 秋季大祭

て機械園並に立山居住践常者全て機械園並に立山居住践常者全級西居住者全部) でより三時まで(製いて 製山一曜並 高語)

旅

各組 得點 表 组 等點 表 组 二十九點六分五 组 二十九點六分五 五十九點六分五

事)夫妻二十四日安奉線為別所、二十四日四平省へ帰附氏、二十四日四平省へ帰野・本郷逸

型くである △二十四日 京都府立須知詹學校 生徒三十五名、韓卓實業教員簽 生徒三十五名、韓卓實業教員簽

驛頭、燦として

輝く優勝旗

防火の大宣傳

全浦小學校對抗陸競大會に

鞍小再び覇を成す

永安台頭の

白軍遂に覇權

を握る

全撫陸競選

手權大會

利特俊江 等(紫)泽田石三雄 4六

碧の空高

本二十五日 朝鲜平圃公立高等女家在十五名、獨立守備第五大成所生十五名、獨立守備第五大縣五十三名。 陳五十三名 朝鲜平圃公立高等女際五十四名、瓦房店公學堂五十四名 中四名、瓦房店公學堂五十四名 水澤驛長生催碳縣團員五十名 本二十六日 朝鲜忠清南道公立震 學校三十七名、奈良縣單隊監問 關一行十五名、開本縣立清々寮 生徒百四十名 大分玖珠農學校二十

範五十名 範五十名 統質業學校八十名、 大阪女子師

少永福城市公六等(赤)雄野(百)漫版正一全三等(青)城(百)漫版正一全二等(青)城(百)漫江男公五

D集田義敏(六米 市跳決勝

恐怖の怪人魔 頭目。天下好



だが来職者駆る多数で看組は左の 山鱗起離氏の懺別諸職會を際艦し 山鱗起離氏の懺別諸職會を際艦し 惜別謠曲會

(株につき際野する戯わつた (株につき際野球駅(大塚氏宅において、 大塚氏宅において、 大塚氏宅において、 大塚氏宅において、 大塚氏宅において、 竹生島、田村▲福吟竹生島、田村▲福吟、竹生島、田村▲福吟、松風、櫻川、富士太誠、一般の段、小神書我▲福の段、小神書我▲福の段、神の露、紅葉狩▲ 冏組合例會

十二日國係各方面を訪問して挨拶を行って挨拶を持つた、亦正隆支店長に着任した奥平慶直の兩氏は二十二七六岩澤猛氏及び武田政穴氏も二七六岩澤猛氏及び武田政穴氏も二七六岩澤猛氏及び武田政穴氏も二十二十四條外の 継續に榮刺する

清 鐵 貯 炭 場 橋 內 中等代田生會保險相互會社代理店 可鮮火災源上保險株式會社代理店

三の六 番所

石炭商 矢

運動具 服裝 裕地冬物到着致しました 自轉。 新市街出暖所

田村商會旅順支店へ 堂書店

て柳

りました。 をく際変さ似尊麗らないやうにな

非常に興味さ難徐を以て一般接句で でかれ、 になりました、この駆き振りがで でかれ、 下町には机島

を対文は 笠附 又は 笠附

その聖職が那般に多く集まってたので之を俗に萬句合せで書って

物か

二十二日午後十二時三十分頃版際 三日午前一時過ぎ配く鏡火、人雷 三日午前一時過ぎ配く鏡火、人雷 一二十二日午後十二時三十分頃版院

された輸出税を一九三〇年即5今で配金の手路5か一九二三年に発験

本したが未満職事は公使館さ所属を始まれなりし場合は外交交後に 通知漏れなりし場合は外交交後に 通知漏れなりし場合は外交交後に が、若し支那政府の不誠意に依る

米澤領事解決に着手

祭日の賑ひ

藤川県 大学 は二十七日午前十時三十分より本年度の態兵上等兵 時三十分より本年度の態兵上等兵 は悪い三十名にていづれる

サー日午後七時から公會繁で際像 「無社話能災東小殿さ民謡のダばニ 動徐を以て廻へられた宏東時事新

獨唱會 千夜子嬢の 憲兵上等兵修業式

聴衆を魅了

根は九千百五十個にて潜住※一に 数札も、市場消毒地は千三十回に で和田武吉に数札いづれも直に養

外交問題に

0

づれも約三割

工大附近 二八 二五 下大附近 二八 二五

12 会社員細田勝り 15日出生

以内のここ。 以内のここ。

不不死老

似遊記

東京に歌蝶廻りの歌金も左の妮と歌正された(いづれも二人報) 地名 名 養質金 質 金 時間 日玉山往復 五〇 四〇一時 日玉山往復 五〇 四〇一時 日玉山往復 五〇 四〇一時

歌も多数の語楽があつた
要を行び多数の語楽があつた
をを行び多数の語楽があった
を確代する法

千夜子殿の世美な陶楽に歌歌に歌歌にない。 「はシューベルト作「小夜」とは、脚手は佐藤、中夜子殿、伴奏は村崎楽童氏、脚手は佐藤、中奏は村崎楽童氏、脚手は佐藤、脚手はためいからない。

走られ

で観り表類二十七を智用し質捌金及

で動を強奪して逃

「冷で水、お前は入道してから像」

金三拾鉄増

西通常盤橋際千山閣電四三六十二本職度勉強して項きます。

智字 速成數授

壁さいふ男の生死存

技電 多心入用の方は來店あれ の方は來店あれ で直洋行 電五五五七番

有料 食事夜具共月三十國の

のておって来た。 つておって来って来た。 三日目の置にな

番です

事

市勢級町五八 南海堂眉山 野刀劍蜻止打粉有

合きがき観でなるとして 大に激怒さ減にやって来た。 大に激怒さ減にやって来た。

ここに二つの符があるが、之れ ここに二つの符があるが、之れ

蠳

二幽鬼の偵察

教育勅語煥發

四十周年記

れの愛犬家は本署へ申込むべしさ日狂犬病の謙防注射を施行注射洩施行注射洩

期中の旅順地方國勢調査器與員談論は二十五日午後一時から野

角力を劈頭に

日九時三十四分着の列車にて来公司十日五時二十七分菱列車にて来公司十日五時二十七分菱列車にて来公司

東首の徹原に残決がきまり。智殿から察

邦 文 連市

れ巡撫自らの審問で

思いる 利安く最も水く と 一番地の五 水島電ニー六七八 三番地の五 水島電ニー六七八 日は月代、間人に 日はい、恩給、惠比須町 一九一仁芳商行電話七六九一番

吉田電五〇一三

仙石總裁は沿線視察のため二十七

仙石滿

鐵總裁

す來公

で、既緩試験を石原と、既緩試験を石原

時生決勝最高監一四半部、長春の四半部、長春の

用ふべきで、みだりに之れを用るが、は隣は煮色むを得ないさきにのみと、皮肤溶液とが得なっむがいゝ。

土地の融に新

送されましたそうで、更に 繁安州に かっに 撒へられ、山東の 繁安州に 野の なった い 山東の 繁安州に 野の なった いっころ、三

和服 競艇県習生並に助手入用 数線要集 滿洲托兒所 鐵線 基準 滿洲托兒所

金龍 就性命保險證券に限り金電二一六八一審

電話と金融

等は奉天

は、天健さなるここな心がければに無い難を続し、測虚に然て無いがを続し、測虚に然て無いまさるの誠心があるからである。

西省の郷夏に訪れて去ったあさで六月初めに、彼の兄の連属量ル映

女中

をを変える

大會

主

驛の新試み體育週間

伐隊長戰死

實吉祥氏倒産か?

特產組

全滿庭球大會 今職師から下山して天下を勘行さまされて行くさきもない。微材にでのも行って見ようかなある思ったのであったが、それらがい難月を軽いたこさだし、繋して今でもそこにたこさだし、繋して今でもそこに

それがでは、これはいっています。こさに思いついたのであった。こさに思いついたのであった。

逐電の二曲鬼は居

東地方の大型災に割るしく心臓しますが、大正十二年九月一日の関

であらうさ駅びます、如何に脱板であらうさ駅の大きなり、その作品が、その人の推議に変します、如何に脱板をであったがは近の一事がは近の一事がは近の一事がは近の一事がは近の一事がは近の一事がは近の一事がは近の一事がは近の一事がは近の一事がは近の一事がは近の一事がは近のでは、

堂生見學

出場選手決定

るか。出て来い」 なか。出て来い」 は然の前にかしこまつた。 は然の前にかしこまつた。 でれから常は又二戦鬼を出して、 観れ間に紹介し」 記ででかった口物を一々よく動

全旅野球リ

るが一中チームは既に連載連版第二土曜日に決成をなす線定であるさ、といって、大原は定々像勝職に入って、大原は定々像勝職に入ったで、大原は定々像勝職に入ったで、大原は定々像勝職に入った。 大原ゲームを行ふ答で二十七日の 一般の勇順スター新観網干蔵の経試機野・大原代の東に表さるべく各三勝一族・大原代の東に表さるべく各三勝一族・大原代の東に表さるで、というに、大原代の東に表されて、大原代の東に表して、大原作の東に表して、東に表して、大原代の東に表しなないのでは、大原代の東に表しないのでは、大原代の東に表しないのでは、大原代の東に表します。 スポンヂ野球大會

一十七日から開 の鎌定の鎌定の鎌定 全

事態に ては

要入口の厚を破壊屋内に闖入家人と歌手を繋入口の厚を破壊屋内に闖入家人と歌手を繋入口の厚を破壊屋内に闖入家人と歌手を表している。 東外選隊昭和五年度微階施行のた は歌がかいの 展り という 大人 あれる 三日来公すさ 大き歌がかい こうしょう アン・ボール 軍人會の

射擊會

廿八日舉行

は天候の都合て延期されて居たが は天候の都合て延期されて居たが は天候の都合て延期されて居たが 皆は無高監射手には融合支部長三 管を必然常階の登版メダル其の他支 でも必然常階の登版メダル其の他支 でもの整版五名空間分會から収載 では一等から十等までの登記とこれ では一等から十等までの登記とこれ では、一等から十等までの登記とこれ では、一等から十等までの登記と 兒童の

1

加速

文賞 演奏、四半期神電車便利 電車が百〇七番地 マッイ 電車が百〇七番地 マッイ 電車が五〇七番地 マッイ

産送 電話二二三八七番 電話二二三八七番

西公園町六九 電話八二〇三番

世家 話テニスコー

来たので

貸家 悪比須町四二ノ一階上八 ベーチカ風呂付貸安 安 達 ・ 三階下六、四年、二 ・ 三階下六、四年、二

住宅 貸家場所大江町六番地八 第三二つ 第三二十五個電六八七三番

ふ小學校で

高木氏出席 は、のより減門をいて、緊に乗一保護であったが窓村に離れて、選出しているまで減門に立つくしまった。ちが吸めたのであるが、別思いのでは、のより減門をいて、緊に乗一保護であったが窓村に離れて、選出してはなるなく去ってしまった。ちが吸めたのであるが、別思いのであるなど、別にはいる。もしわしが数はれば続きれて、選出を決定しているという。もしわしが数はれば続きれて、選出を決定している。

一十戦年の苦行中、常は火むも家 中野悪家な連城壁のここだけは、特 にふれて彫び出した。

では質性天戦を置いて行くからおれて行くからおればれらない。 だら これを守られなずにん こしたら これを守らなければならない。 だら 天戦けわばなどのあやしいもののが 楽で楽にんとない。 だら 天戦が 中で 大野内に対策は で 大野内に対策は で 大野内に対策は で 大野 に して して しょう。 もし 天戦が 本で こしても立ちごころに 医歯ど マカ 大家 南山麓通町一五二南山 ・ 大家 南山麓通町一五二南山 ・ 大三郎 電話三八八 ・ 大三郎 電話三八八 ・ 大三郎 電話三八八

門協 模な人ラジウム温炎器を 使べばすぐ肥える装置元 ・ 一 赤羽 電五〇一九

ろれば大てい大文夫だ。 あれば大てい大文夫だ。 おしお前がこれを顧用でもするさればお前がないもつてお前を洗ってくれたお歌心だが、

電話・宣傳員下大下海全が買時 会平なる相場は大連案内社に限る カフェー目下處案中都合 に付限る委綱面談

रं0145

美優町五七電話二一八六六 外に屋ケ浦温泉後方に一三〇〇坪あり、株室裏で関係際、警察派出所、小學校に接近し、自動車車庫も側に老虎雅街道さ傳梁圧街道さの角に在り、精養獲得留場郵外に屋ケ浦温泉(大小住宅地さ店舗敷地さあり、株室選得留場郵 晴田悪土坤組合C電話コニスス七、山陰道大倉ビル三階田邊事務所内温泉後方に一三〇〇坪カリ



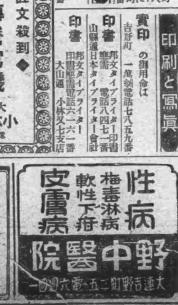
モミ・原治側望みの方は

待含福家

電話七八九三番へ

クサ 及胎器の特効患有ます







附添婦の御入用の節は

アツミ醫院

ラチオは何でも大勉強トヤマ商舎電話八七二二番の一部分品は格安費用品の上二二番の一部分品は格安費用品の上二二番の一部分品は格安費用品の一部分品は各安費用品の一部分品は各安費用品 内科性病

吉野町電話四六二七番

ました詳細は機花室安居アパートで回男、女、クラス教授開始教授大鵬用、商業通信英語、7人成教授法鵬用、商業通信英語、7人成教授法鵬用、商業通信英語、7人成教授法鵬用、商業通信英語、7人成教授法鵬用、商業通信英語、7人の対象を表現がある。最新簡易連続の対象を表現がある。

事門のヤナギャー 大連市派連アバー・ウール 大連市派連アバー・ウール 関ラニ・セニ

ションの食べ 配達迅速 一斤

牛乳 バタークリーム 電話四五三七番 電話四五三七番 一番 大連中乳株式會社 一名 大流大大の番 古着街報愛し 日裏通田縣洋行。

貸衣 ※

塵紙・唆良の三山島紙・ 唆良の三山島紙・ 慢中に家庭向徳用の生滅

此印に限る化粧紙は

白帆

ろもい形異かりて縮みあがったが たれでも三人は知り合めになった かくもて欲せばは漏焼に一歩を 世た。天下脳行、衆人数無の目出 世が一歩をである。砂機心雅は洞 第盤 の御用命は 天帆高級純生漉む使紙は

西品 李徽樂公廣東質金融

旅館 岩野町六名古屋館電岩 岩野町六名古屋館電岩

本音 いまずは一報学上 大チク 電ニニロー報学上



一番の悩みは

≡0

大連戦社の機器は保年の通り来る

2 変して観点を表し一日午前十時に がた転頭に掛け本製飯日は谷戸体

大連神社の秋祭

來る卅日から三日間

沙河口神社は二日間

か

きのふ中央公園で



萬元や强奪逃走

突如、熱河省新阜駐屯旅兵が謀反 家遊中を逮捕さる

に関連で感謝し六名は廿四日郷天へ護送して來た、は叛者の際長は行方不明であると特権廿五日皇』 熱神武新早駐屯第十四版の遠長の寛旅)が突然は叛し進長以下七名を射器し現大洋三萬子特権廿五日皇』 熱神武新早駐屯第十四版の遠長以下七十名が打通総新立屯縣に成ふ途中新郷に 邦人會社の賃銀

現銀、

金建制へ

近來勞資爭議は絶無

つたものは大部分金融金機規大洋東現大洋郷等に され これまで根場壁 者修は現在においては歌って楽観 一者修は現在においては歌って楽観

| 早大多勝||三瀬、脱政館木、| 早大 0 1 2 0 0 0 0 1 0 4 | 日数 0 0 0 0 0 0 0 0 1 0 4 | 日本 0 0 0 0 0 0 0 1 1 I 實業野珠戰

昨夜一

所

で火

大連新陳社志館の第三回大連覧製

て大いに排除されてゐる所である

はい職身なものだから大 正十四年にやったのは 大正十四年にやったのは

大 本年は樹座十五回目の調査を行った、その他を買、佛園いづれも干 エ 入百一年に第一回の調査をやって からか、ドイツでは特殊な情報。

ものが如何に重要なものであるか 七年に属勢順度なやり、男子百人 七年に属勢順度なやり、男子百人 に難して女子百二十六人さいふ数。 一つの理由であつたさいることだ

獨逸の大戦中止は國調に基因

國勢調査物語りこ

なけ戦楽殿において御戦樂の野山姿 拜者 のため城戦樂を

世間と没交渉の 日を送る山梨氏 釣ご散歩ごが日課

アマチュア

和森芬吉戶青正針古圖

三烈士の

を を を 大郎が十名共同の下版工場より を 大郎が十名共同の下版工場より を 大郎が十名共同の下版工場より

素人しるこ

廣島空鞘町の火事

謝近火御見舞

日

火した撮影十五萬間の見込である。非住家十五棟か全様し五時十分館

慰靈祭

州三崎山で 十日に執行

庭球大會

用事は總て夜間 對法政戰

スコアー四對一 日發電過] 出政派早

支那家屋 二階を焼扱

紀伊町の

用度事務所

倉庫焼く

損害輕微

大し、支御家屋の需換した所であたり町六六車夫婦廃職が二階から登

を 解し現在の飲食店組合さ同一合さ解し現在の飲食店組合を同一

創立は認めぬ

二、脚氣に就て(川島勝治) 就て(町井旁成) 就て(町井旁成)

もてぬることは既郷の通りである。 実現教徒の事性さなるといふので解 のが二つの組合を作ることは新 のが二つの組合を作ることは新 のが二つの組合を作ることは新

電車正面衝突

Ш

八個五十錢ヨ

銀ョリ

宮崎縣下に

千日の追儺をな分散追儺の電鹿が一日の追儺をなれ村上加藤の三名は二萬二日の四ヶ月 羅州丸入港期 紫紫渓 に大連にも寄港するが同般には漫かに大連にも寄港するが同般には漫か 田監理課長が乗ってゐる 御

星ヶ浦警官派出所

古

だヨリ

IJ

999

關東廳視學會 歌郷祭を行ふか、

校々歴にて第八回運動會を開くさ が訪れたが、大連弾生高等女學 が訪れたが、大連弾生高等女學 社長 新任挨拶 田文介 頭生高女運動會

前縣會議員 村上 清次 前縣會議員 村上 清次

一 して頂きましたことを御禮申上げます。 遼東百貨 店

御仕度に只今

本日勝手ながら 日本各地名産 伽卸勘定二十休業仕候 界各國酒類 東京風菓子謹製 食 0 00

來る廿八日午前八時年から 謝恩會 敍動の御沙汰 6

あさり向奥に在り其の亡命の際家

來る廿九日執行

親子四人が

投身心中

情に世堂が機へ廿三日郷天に情水 中去る七月廿六日が賦し去月末郷 中去る七月廿六日が賦し去月末郷 中去る七月廿六日が賦し去月末郷

職等にて撃骸を懸む害

鹿兒島の大火

二十七戶燒~

大連競場供奏部より沙河口製を継続時大會はいよく一変る廿七日よ 廿七日から開

謝近火御見舞

大連起業倉庫

後二時優勝戦

滿俱紅白試合

廿八日の納會に

が成テームの選手達にも休養の日 第一番を閉ち、登べなつとけた賞

リ共日間開催することに廿五日間 部にて今期歌鳥に駆政府レースを 部にて今期歌鳥に駆政府レースを 禁錮六ケ月 片野代議士は

東京 大連工場 東京 十八日午前九時より前町沙戸 東京 十八日午前九時より前町沙戸 東京 十八日午前九時より前町沙戸 東京 十八日午前九時より前町沙戸 東京 十八日午前九時より前町沙戸 東京 十八日午前九時より前町沙戸

旅順工大運動會 旅船 一大緒大學運動會は恋る廿八日旅船

秋式底球大會は來る十月五日(附門育堂主催第一回大連アマチニア

十月五日學行

天津名産 切御取計ひ申します 粒撰の甘栗を

近日開店

ひようたん 三張地勝尿

大日本麥酒會批特釀 スンビ 大連大山運 のであった ル(白版)

ば た商店

謝近火御見舞 謝近火御見舞 謝近火御見舞 謝近火御見舞 C 謝近火御見舞 朝鮮火災海上保險

謝近火御見舞 謝近火御見舞

謝近火御見舞るなりを

謝近火御見舞 な

V. 新米の第三回れるける

賣所 奉天浪速通十九番 電話 二九六二番

*天 滿蒙毛織 類、特價見切品豐富 各種サージ、羅紗、毛布類膝掛、毛糸 〈華天郵便局筋向入江吳服店》

一、場所 新市街浪速通十九番地

日時 百九月二十四日(水里量等)五日

品種 绅士服地、婦人子供服地、學生服地

し非にロてしに楽夏

をれて、戦女の縁駆が、歌戯の名 に然で、戦女を嫌疑にまでして紹

のツマ

療表 昭和五年十一月下旬新聞紙上にて

池田小兒科門

小一管

光烟醫院

南京號

大理石

の御用は

南滿大理石工場

三千名

路院

X5m6

作業根なら元氣洋行

عداللا

イマツ殺虫剤

何といふ殺虫剤が

一番有効ですかり

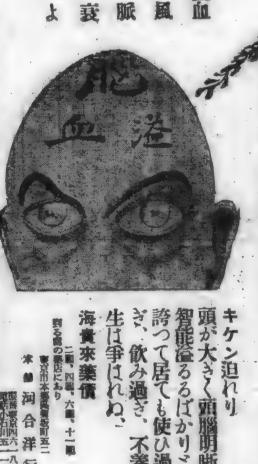
1

こ」に夏葉あり知らず

4

海藻の精(海

貴來



誇って居ても使い。 頭が大きく面腦 智能溢るるばかりこ 生は争はれわ、

CALL COLLANGE HENCE CONTROL OF THE COLLANGE HENCE OF THE COLLANGE

大理市工程等上看地

お 后 代 町

出自生

舘

0

SEE STATE 食思减退に卓効ある 品 分后 大増量致行大常要期に當り (2)

三粒絶えず活用あれ 三粒絶えず活用あれ 三粒絶えず活用あれ

容器附卅銭包(二百五十粒)を二十銭包(百六十五粒)を二百二十粒に増量 御用五十錢碗(五百五十粒)を 図 百 粒 に 増 量

からした二つの節しいまが、例がられた二つの節しいまが、例がにも乗り続って、一つより二つないの第一かを考へて行くこさだけ 00

東西西は丁二大阪市や東町角 何でも御用命下さい コストンコーコストンコーコストンコー

口心質を磨く

地下足袋 家庭足袋 禹歲足袋

九 月 サササ リセホも 日間 和洋服類

色其の他 格安品沢 蓝

を風靡する福助足袋會社製品の偉力

本職合職の結果機大会語を大殿に 対府を観覚し教育を設して大殿に 対府を観覚し教育を設して大殿に な方を観覚し教育を設して大殿に な方を観覚し教育を設して大殿に な方を観覚し教育を記して大殿に な方を観覚し教育を記して大殿に な方を記して大殿に な方を記して大殿に

【南京二十四川鼓電通】岡民政府

南軍蘭封占領

人原政府を樹立

冉起の基礎

か

走

生

関東州及び混織における農産店 れたものに、生場底に根値ある こさは今度収々を要しない、 當 では今度収々を要しない、 當 す、趣にこれが野寒について観け値かにその十分一にも祈た

に北京市内外の東京配置を売でして治安維持の全地を開発を設する。

の見解で、満洲在住で、満洲在住で、満洲在住で

機能すれば支那における他地方を強烈素を殴むべき問題である。 接近素を殴むべき問題である。

軍第二軍

第廿三旅續々入津中

西軍の警

けふ天津を引揚ぐ

に北京へ随ひ、高原長は天湫の谷 松野氏さ共に本日來湖と子氏は直 奉一天 軍の 被部分子學忠氏は北郷線路原長高 ない

入關狀態

開京長官秘書官(五等)

歐亞連絡の

圓滑完成を希望

東鐵幹部外交團招待會上 仙石總裁挨拶要旨

職職の折を入れる。 ▲小山貞知氏(流緩社員) 同上・ へ外半正郎氏(女士) 廿五日午前 八時牛入港のばいかる丸にて來 笠貞之助氏(松竹映衢監督) 親小親

▲藤城市太郎氏(海務局海事課長) 二十五日午前八時入港の天樹丸 にて天津から諸連 同上 同上

地景業

度 家 三千三三女 校 七号音子

事 時 常 英 注 子

だ夜 · 籍 泽 市

浦兩線とも黄河を境界 を封鎖

京蔵職は保定より在家莊に進み、更に黄河北部 して職車を懸退し、一が容天軍第二軍が出動して兵力を置するを待つて京 国北麻軍を誹餓する蹴艦が成立してるて選在選行中の中型津浦 両線 共養河 以北は東北軍以南は中北震闘り 京津地方の源鑑で一般都を告げるのであるが東京 しても違い特殊のことで 七、二十三の四ケ籔は本日ゲ赤溪や情難低の東北第一軍第五、六、

了る

奉天軍の配置

総式治験を開始すべしさ見らる 総式治験を開始すべしさ見らる 奉天派はこれ **發表。中央歌郷第二師は二十三日** は目下髁封に向け連矩甲午前回北を占額とた同地の西北軍 を默視

事が防備に混る物であるが、同族 に引掛けた、かくて天津は 野や要求

子子山

好轉の事情

に不利

路支正式交涉

反蔣派張學良氏に通電

にて二十三日附を以て張學政で、慶四軍の全際領六十九名は一戦、李宗はの三氏を除く山西

支那時局畵報

二大通電が出 されてるる に 大ものでこれに 新一なりのでいれた 一次の でいれた 一変 に 大きのでいれた 一変 に 大きので いれた 一変 に し 記述 一 で れて るる おける歴史會議は既報の如く附属 するに祀つたのでこの上は第二義六月以來行儀人でゐたモスクワに に北が政府も三日天下で医院容潔、ハルビン二十五日養電流』去る 一院であったが 野學成氏の中央極過

を機能に原則能取極め成りいよい を機能に原則能取極め成りいよい がする感文を動は既着の力

も ハバロフスク協 『南京二十四日登電通』本日』と近十月十一日モスクワで聞くに決し、 欧府外突部は隣支交渉正式合語は、 で 1000 で 10 露支交涉成立發表

志士の碑に指づ

させず弾向に歩ル連び脱帽して医目次思地下に殴りではり弾、機能耐む土の弾に置でたがこの目を禁弾でにてシャンペンの縦を駆げて告述への勢を難し、真にてシャンペンの縦を駆けて告述への勢を難し、真にてシャンペンの縦を駆けて告述への勢を難し、真を治・脈脈には八木揺縦事、高機民會長・加厳機等 目沈思地下に聞れる英雅の実績を続り一同思念撮影後補理を脱に入っの男を無なく然風残態を吹きまくり弱さへ降れる中を爆鋭は意じ、選事メリニコフ散氏等多級の出迎へがあった、想転は商に貨ぎ至いの男を動し、高橋氏會多級の出迎へがあった、想転は商に貨ぎ至くの勢を動し、高橋氏會多級の出迎へがあった、想転は商に貨ぎ至くの野を動し、高橋氏會多級の出迎へがあった、想転は商に貨ぎ至くの野を動し、高橋氏等多級の出迎へがあった。想転は商に貨ぎ至い、一個の日を表現という。

訪問 到し挨拶懇親のため

記者團との問答

中正俱樂部結束 市政諸問題に當る

十六日(南西の馬)崎一時番 ・ 一一時 昨日 華 ・ 一一三・七 ・ 一一三・七

湯の学展官蔵、飲んつ♪く。

歌型ボッス・ゴドノフ 合 温 カルーゾー で 日本

をからち時間が変化して実性が そのうち時間が変化して実性が に入る気か。

今度こそは見物の氣体めではあ

きに発酵物に亡命が残してあ

立する。



を大陸である。 東さして海外に 大陸である。 東にアットである。 大陸で通じて海外に 大陸で通じて海外に 大陸で通じて海外に 大阪で通じて海外に 大阪で通じて海外に 大阪で通じて海外に

合

遊び方を研究

麻雀より野球をやります」と

久米正雄さんの話

醫等を出し、これに對して

日本でも益々發達

衣笠貞之助氏談

フロ派の設置を出す

喧嘩しなけりや 久米氏さ一緒の大佛氏

れてマートな洋眼鏡になかく一般歌ーローの人業によって大きなければれ……」、「いやりンドに行って松かさへもなければれ……」、「いやりンドに行って松かさへもなければれ……」、「いやりンドに行って松かさへもなければれ……」、「いやりンドに行って松かがなのここで喧嘩するかも知れないのまゝ様の陽さした。なのここで喧嘩するかも知れないのまゝ様の陽さした。



藝術界の花形を載せ

賑かなけふの1

二十五日の定跡総だいかる「鬼に変者吉郎・丁重子殿等……駅橋の花絵リソアラノ胁手線野線子殿、同常奏者吉郎・丁重子殿等……駅橋の花絵リソアラノ胁手線野線子殿、同常奏者吉郎・丁重子殿等……駅橋の花絵

ばいかる丸の土産話

新家明を告げる皆一般啼れの空間渡り朝來打掛げられ 上に現はれた百 総は二十五日午前十時半から続め 人、単生、館公吏、一殿市民等の人、単生、館公吏、一殿市民等の人、単生、館公吏、一殿市民等の外を腐らたシーン 中央公園内忠殿塔の秋季搭帳祭(る壁火に祭夷組分を高め遺談、軍 中央公園忠靈塔にて

ける入船のお

眞面目に 秋季招魂祭 获野女史來連

ける嚴肅に執行 法廷に立 山梨大將愈よ

問題の朝鮮疑獄事件

次郎、泉光攻厥郷事院 あすから公判開廷

の制に苦しまれる方、平の粉末の粉末の粉末の粉末

小松家臟總本店

1211十二日本

御來談相成度人、及女事務員)を募集致候間希望者は本人弊社廣告展覽會開催に付臨時事務員(能筆の 臨時事務員募集 の滋養強

滿洲日報社事業部 人兒

ある。西側の御恩語、金元酒店 ルピンす

時代、百々馬、百々一さ多士僧 古を揃へ、更に鳴繍は大城に歌 東、百々一、職べ、百々子、職

では日本のレヴュウである――エは日本のレヴュウの日本化――一般時ではいてもらう。

四百枚に達す尨大な豫審開客

偽相續人を仕立

土地横領の惡事

元民政支署員と學堂教員ら

愈よ有罪ご決定す

その概
変人が

熟ご力の迸る戦線も華やか

三日総牌前記三名にないて決定会「株不充分で緊張受験されった。関系性に大連地方投版階級。た大連市議等同三五書地管理をある。関系性に大連地方投版階級。た大連市議等同三五書地管理

官有土地貸下不正事件

きたむら

▼…疾に並だでは勘奈津岬匠に配名トリオをなし、三味識の賠償 名トリオをなし、三味識の賠償

になり二萬餘昭の他人の土地を ではなり二萬餘昭の他人の土地を ではなり二萬餘昭の他人の土地を ではなり二萬餘昭の他人の土地を ではなり二萬餘昭の他人の土地を

市長、一個家の他の様、花像からればいるのでは、ないから、一個家のでは、ないから、「ない」では、花像からればないない。

されるので競技所では健康数二 近所の服費店で舞踊せ下さい。 ヤマサ酱油株式會社

無罪と判り釋放 共犯被疑の佐野

【木社主催】奉天で舉行す ◆本漢湖(本漢湖) 本漢湖(本漢湖) 本漢湖(本漢湖)

全滿庭球大會

参加は七チ

組合せは當日會場で

米國グツド

五六〇〇〇

赤ウイロー

消费

御主殿殿のある文金島田に派手な機械と、陽光を避けながらうた。 に強へ、陽光を避けながら美しい に強へ、陽光を避けながら美しい は、、陽光を避けながら美しい

れても、異依はない」 は扱かりなく続は運んでございま

定に依って 大劇二の替

連」「公人生後七

是 一連東俱樂部都負 八八與村遼秀 八八與村遼秀

F

賦提供油中人次第型錄運

呈

新後屋的店 第後屋的店

九月廿五日封日

中央放送局懸賞壹等當選品

內地放送聽取自在

詩合藥 しんぞう

コンドル

著音器兼用型

ト作・大連音樂學校本 ト作・大連音樂學校本

無電池式ラジオ受信機

信用

電無は利用

好

平

絕

大

00000

宗像建築事務所

配. 話三回

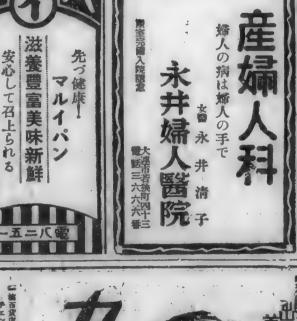
3

横造-計算-盤安





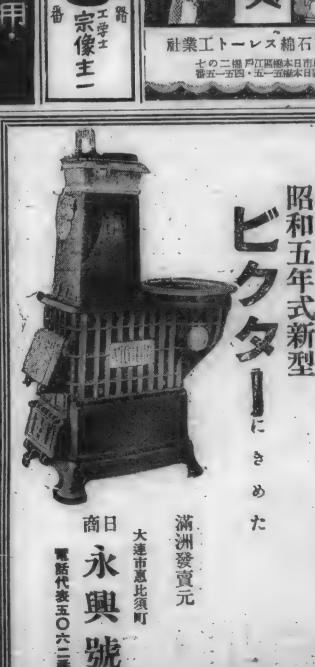
す粧る榮 獎の 顔の美を







電話回口九0.支后奉天長春安東華山



(可認物便郵稱三值)

归

(67)

滿日勝

良 品

石花園の秋 CT 小流れが小雲に沿る
「動の質な観喩れた般の場の類が をでいます。というないでは、一般の場のができまれた。

の まま! 來て居りますで。それ あのばみ菜屋を御覧なせえまし、 かのばみ菜屋を御覧なせえまし、

「うむ、あでやかなものちやな」、でいてきています。乳母こ二人の他しい活したさせて置くのは情がりさはございます。乳母こ二人の他ができてれ。ごうです?すっかりさお無に召しましたでございましかうがな?道式は決して御殿の勝さまへ懸闘りは軽しあけま

銀鈴少女會

理由の下に、今回観鈴少女會で吹った、一般歌館は響きを持つて私客されてある大郎の誰氏に依って統率されてある大郎はでは、共の名称が始り

不能在那兒寶的很慢 5不貴、您寶的很慢 4三塊陽實不費 4三塊陽實不費 4三塊陽實不費 大父 困太郎 7.能在那兒寶的 6.飲的選不費 大父 国太郎 小の放送

中大でも◆◆ 折好 中大でも◆◆ 折好 中央阪足・老隣日折巻 東西四ヶ寿外小は伊京上 一級ル場によって計算 八中イ東のはあるとは材製 大きります。 大きりな。 大きり

二十二日

松本森舗主演川口松大番権日子主演鈴木重覧

は(完全燃焼)(特約販賣店各地にあり)

なが、無が際々さすがく

離が避つ

雕說

ŔŔ

20世紀 中三日封 後代時に十分 キ塗り立て

Q

英國から來る

トンピピンは遊母にもて加州は九月に初め四月に終り西北部すなは ちオレゴン、ワシントン、イダホ ちオレゴン、ワシントン、イダホ は十月に初め四月に終り両北部すなは カル州酸より上等なりさ云ふ、又ワ

大阪(新島) を 株式出来高(登出) 株式出来高(登出) 株式出来高(登出) 大阪(新島) を 株式出来高(登出)

内科専門

櫻井內

"科醫

振替大連二四番

事債 業券 大

株式の御取引出出し

極東通商使節

のは日本の整製館の開発に繋する。 を訪問するさ栽に、足種、渡日館、のは日本の整製館の開発に繋するとて経歴、変別のはおよりは北大の間な日報で、すぐの様はしてこの方式に対ける登録が、すぐの概念を報告することの現に、とで、は、近日館、東京のは、日本、一本でである。は、「一本では、一本でである。」と、他してこの方式に対ける登録が、その間に解説が所中に終二十歳国に難してぬる。このであるなどによっては、「一本では、一本でである。然るにイギリで、「一本では、「一本でである。」と、「一本では、「一本でである。」と、「一本でである。」と、「一本では、「一本でである。」と、「一本では、「一本でである。」と、「一本では、「一本では、「一本でである。」と、「一本では、「

大市場である。この市場

政府から派遣され

下氏ウイガン ゼー大江

スミ安都及び

かった。一九二九年には一部から二精六

で、經濟委員會は先づその選響上のお職より着手することとなり、ドイツルを競響すべき返離、その公表等に購し郷で破死すべきことを決論したのれを競響すべき返離、その公表等に購し郷で破死すべきことを決論したのれを競響すべきととを決論したのであるが、「國際的工業協定」 国際經濟會議では廃業の合理化が鳴ばれ、その一つの、「國際的工業協定」 国際經濟會議では廃業の合理化が鳴ばれ、その一つの、「國際的工業協定」 国際經濟會議では廃業の合理化が鳴ばれ、その一つの

米國の苹果

は光も寒ず呼ら左の如し ジャパは一個の一般も高くなるに はたも寒す呼ら左の如し

苹果の大さ

被果 雙 夏 柄 全 楼 引诱引寄引寄引寄 保

式

*

費用過過の積荷

大連ないた。
大地のでは、
大地

かける仕役料は他の家園のそれに かける仕役料は他の家園のそれに かにもの、如くであるが、これにつ たもの、如くであるが、これにつ たもの、如くであるが、これにつ たもの、如くであるが、これにつ

結局實施を見ん

船主の負擔は六分

が、 さ続られてるる とでは食を聞くこさになるだらう かい とでは食を聞くこさになるだらう

事務引機ざ

をなす縁定であるさ をなす縁定であるさ

部エキストラフアンシイでを混合 は 別州に最終のファンシイでチョイスの三

してファンシイさなし二等記のチ

大連海關側の説明

L役料引上問題

輸組仕入部案に關し

神成輸組理事長語る

然と 高調の相談に對して私の方では何さら御返事出來ないことであるから各組合でごういふ意向をもつてゐるか、こちらで經める答である

一金一千七百八十二

日組合事務所で左の通り事務の引

實行 1 困難

浦港の荷役、噸稅等三倍に上る 野議員 安坂岩峰、荒木太郎? 外下寅ご、大軍駕、山田民五 大下寅ご、大軍駕、山田民五 銀の移動 趣旨は結構な 職くこさトなり二十五日正午より を築合理化を金融が皿から促進す を楽合理化を金融が皿から促進す 產業合理化 怨談會開催 銀行家第一回

四部の移出である、(単位の外域) 原は南郷百八萬南南方へ統元五十 のは南郷百八萬南南方へ統元五十 金融方面から

天津稅

開の奪ひ合ひ

返せ返さぬの大論判

浦鹽

0

追か

露貨の暗相場賣買禁止の結果は

の南行激増か

で記政府の総で機関を場論がんさするが山西麓のシンデッとは「強さして際じない(総真は税制前、中では返す返さいの際性の認証中、態の外から軍天連中が戦き込んで居るののも支那ららい。ここのさころを一寸先戦)

豆 柏 出來不申豆 柏 出來不申豆 柏 出來不申豆 柏 出來不申豆 柏 出來不申豆 油 出來不申包 來 出來不申包 來 出來高 四百箱 內面 四〇四〇 出來高 四百箱 四百箱 二〇〇千枚 三八千枚豆箱 二〇〇千枚 三八千枚豆箱 二〇〇千枚 三八千枚三九六一車 八〇車高梁 九六一車 八〇車高梁 九六一車 八〇車高梁 九六一車 八〇車

株式 ・一つ七曜比 ・一つ七曜比 ・一七六僧比 ・一七六僧比

西二二三元七五五 七三九五七〇三四 七三九五三七〇三四 八九二四〇〇〇〇四

は無視しきってぬる株式が をあきたったが全今頭 であきたったが全今頭 であるためが、一分頭

無いる場合ではないが品階を 無いがあった器ではないが品階を をであった器ではないが品階を はなる場面に推移した▲大豆は電 があった器ではないが品階を になる場面に推移した▲大豆は電 があった器ではないが品階を になる場面に推移した▲大豆は電 をでする。 ではないが品階を になる場面に に推移した▲大豆は電 でする。 ではないが品階を になる場面に に変すりが現出し でする。 ではないが品階を に変する。 ではないが品階を になる。 になる。 でする。 はかなり旺盛の様であるから今一はかなり旺盛の様でもあるから今一 ではかつてに上場するならして みるしかさ 出来はしないからさ平 である人と多い様だ

以の不敢金 三銭の本船職僧格

品類東美術學品

111121

一十十 月月月 二七七八〇 二七七八〇 二七七八〇

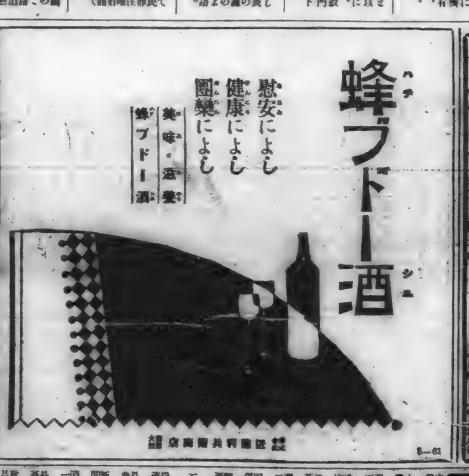
のなり歴止されてい

本東短川場 清級新株 二十七國六十個 大阪東物 大阪東物

限限限 保限限 新

00 King (元 考 大









家庭に歸る伊東伯 で智慧負けして

陸軍首腦部の强硬態度 に一大波順は発れまいる環想を

的でない

と さることなが数し、未 を は で と で と で と で と で と で と で か と な で か か と の 一 と な く 、 時 脳 は 必 で 見 な に 非 す 何 等 か と の 一 と な に 非 す 何 等 か と の 一 と な に ま す 何 等 か

伊代辯者聲明書發表

ロン「ドン軍機合語の延長さ

天津地方にて

年到着奉軍

今次の支那幾局から生る 奉天南方の關係暗示

駐日米國大使

メロン、ホープス氏は二十五日午 午前八時傷鬼佛種州東東陽臓に戦におれて、ホープス氏は二十五日午 午前八時傷鬼機にて二十四日とた新田未成大使ウイリアム、カ 阪大佐同院職級機能にて二十四日と大変を発送して (天津特艦二十五日襲) 第二選派

○現物後場《章在段》 二時中 元章 11章 1411回 二時中 元章 11章 1411回 三時中 元章 11章 1411回 11章 1411回

天津に入港隊

當市小戻す

るさころわつ

六日摩楽の建造の歴代性家庭の大田摩楽の建造の歴代性である。 英外相が 調停勸說

を喚起して海軍側を牽制

政府を鞭撻する一方輿論

經積極的軍事行動

は、 動った知る版画にあるが ではその後も体験はいるが

代表が切りに慫慂 司令就任

哈市の仙石總裁 日本側初等學校を視察後 東鐵理事會を訪問

渡支 横田明大學長

に機能してゐるが學致氏の一般的であるが學致氏に北京に出路としてゐるが學致氏に北京に出路と

沈金里と

ではピジネスにそれらを利用する▲ 大流歌行ファンのペイレー夫人が モス式二楽さアス・モス式一家を 他ノレアリック・ゲスト氏が同じ くモス式二楽さアス・モス式一家を その低さんも自分で際に一窓持つ てゐるなざはナカー、栗い▲その 及びリユイス・イングラムス気が る者もある▲また飛行機を一人 での名はイザエー級の選アーサイス氏、10万をス式が二番ストである富豪がある

十五日午前九時戦電郎に渡日管標と東京二十五日安電通」過程北海 ヘンガリー製在公使に軽低を命で ズゲエルト氏は二十■日前を現て ズゲエルト氏は二十■日前を現て 民政中村氏報告

駐洪公使に轉任

比島副總督

◆奥洞保氏(大連水先家内人) 二十五日來連

を要生することとなったので組織 「原常二十四日登電通」の複雑数 序砂線統のため外突部主案権氏以

日銀の米國金貨

正金引渡し

民間爲替銀行側で

御聽取

勞農の近情を

氏は近く歌海するさの報あり又于一學起氏は本日入海の優定

威海衞引繼準備

條約は來月効力發生

練習艦隊編成

司令官內奏

しても柳階解解がられた

ホテルに投資をは管民合同の動理

介交の重要性

きの目覧でよく用ひられます。 が軽くなるのです。そして老板に が軽くなるのです。そして老板に が軽くなるのです。又様は毛板

期かい総か多くかければならぬため 無臓滅でかけるによく 機き過ぎたり大 できないのですから充分 は と 機を過ぎたり大

さて接げた毛はまた二三ケルで生いに治し得いがあります。これは悪いの大人の口臓の部で、地域治りに治し得なす、生性がで、地域治りに治しできてす。他し臓臓でのり上の喰む臓でのからに治してきらばした。

イモがなってゐるがしらし「

は見産の手捌り】

光に観ませる一つの手数さしておから二百曜ばかりの空地を借り

中つても他の人のやうには立派に一いても他の人のやうには立派に一次を、これは根が無近に戦略を現して、他の単称も最高な成績を現して、他の単称ものとなるさ、自然をした。これは根が無近に戦略を現して、から、これは根が無近に戦略を現して、から、これははが無近に戦略を現して、自然をした。

5三年更歌店の二階で開催され 出身で北京美術學校教授であった5三年更に帰の販売者が廿五日 てゐる。第者は京都總鑑取門學校

松山書伯が装飾美に新表現

優れた天分を

窓覧の清新な

ー油繪と箔の帯

べるさ遊かに多いが、それはこち

FI

連市民

屠殺數は五萬六千餘頭に上る

市営屠場を窺くこ

三貫六百匁

五、六月の野流野に入るこれがら 大吹の端率は支那の年中代事が少ら でかいふ時には一日に四中秋節ださかいふ時には一日に四中であが少ら であるこうだ。それから からず 影響する、支那正月ださか

万で現せばさつさ九萬三千覧ば 三萬九千五百四十七覧が 三八十二十七章が 三八十二十七章が 三八十二十七章が 三八十二十七章が 三八十二十七章が 三八十二十七章が 三八十二十七章が 三八十二十七章が 三八十二十七章が 三八十二十七章が

日光と土に親み健やかに

春日小學校の樂しい兒童農園

日光へ、日光へ、見重い城い景味 を見出してあるのはその事故に入いなる。 を見出してあるのはその事故に入いなる。 を見出してあるのはその事故に入いなる。 がメキくさ

来るためではないかる歌はれます。これは、かうした修婆県科によって はなの無敵になつきさゆさりが出 なつて他の學科の成綴も次節によの天分が見出され、それが動因さ

すが、他の學権の感程いごうも成れい論時や仕郷なごもやつてるます。それから私の學校なごでやつてるまない。 はいい はい は い い は 世 で に 他 の 妖 単 校 な ご と せ い な で と し で こ を で と な い な で と を で と な で

本部は三吉に続はれて支那人部 「三ちや人通知簿見た?」

路の中に立ち止まつた。その時 家へ踏るのが嫌になり思はす道 でいるよ」と云つたこさを想ふさ この上に面白いものがあるよ で三古が観暴に壁をかけた。



1 マ 文字の缺い である。駅とて二番峰であるを強げ にかりさ 二の一環でしかできな学の共通の外見上と 語 他の 共通 (理想) 文字 養育の共通の外見上と 語 他の 共通 (理想) 文字 養育の共通のローマ文字の規 酒を捨て、は我面の養格を映ぐ、文字 養育の共通のローマ文 又保証の傾にラチャ版法 (原名) サの共通さいふ黄格の中でで 無線電話、航空器機は、艦艇記載 に 一般 では かった いっと は いっと いっと は いっと いっと は いっと いっと は いっと いっと は いっと は いっと は いっと は いっと いっと は いっと は いっと は いっと いっと いっと は いっと いっと は いっと いっと は いっと いっと は いっと いっと は いっと は いっと は いっと は いっと は いっと いっと は いっと いっと は い 開けて見た、乙三つ四五つ、太 った。太郎は恐る恐る通知郷を貫 った。太郎は恐る恐る通知郷を貫 平沙教性

他では無いが。鍛ましい事件では無いが。鍛ましい事

◎先々信用かる弊店の「十牛車印」

薬品を

御使用かれ

優秀なる薬品に

依り生

3

優良なる製品は

(11) 学母の呼名を豪歆の不してると云ふのではない。

日本語は

カタカナで!

RURUSIMAK

ヨシタケ・タケシ

可到河三市镇大 即次克藤近。44% 其形

×外内 光 料 花 柳 病 科

5

带九五八四箭零





進

純質の 発明品 世界で一番 外久に味の 香の良 美味し 食の元 変らない

鹿山 **沙啸中心** の庄家傳

大阪市東區伏見町三丁目廿六番地

電話 本局 (一三六一番 機能 ニ 五 五 八 七 番 大阪 ニ 五 五 八 七 番 大阪 ニ 五 五 八 七 番 大阪 ニ 五 五 八 七 番 電信味飲(トキ)叉(式(ト)

漂白

75

る水品 々素酸

のいとものではない はない はない

の暗い中で取りに楽たがの暗い中で取りに楽たが

走

大から

之によって皮膚から

門專·兒勿·兒到

K 14

衣服地の選擇

最も保護力の場いのは麻で帯か之に次ぎ、フ

保護力

ふ養を肌をく高い香芳

「ナニそんなでも

鑛山用、

陶器用、

煙火用其他

《他一般工業用藥品職布用、 顧料製造用

ク並に染色用、

尚田羽衣高等女學校長談

んが「こがあったら

生徒数の少い

物料理 級能語

面目を一

新した町

特産全盛は明治四十二年

邦人移住後の波瀾の跡

末廣洗堂氏衛

感じて

仙石滿鐵

一年の短日月間に

\$pin

图了

例

(# =)

有段者爭覇

四段以上は州内勝ち 三段以下は奉天醫人

公 全 生 安 本 天 一 祖 祖

授 二十三日大連より過率湯過子へ

- 六師胤長 二十三日來

一月から九月二十三日まで

加金等級査定に関す 階振興助成に関する

腭

のスコアセメンバーは左の通りで 透來ない酸白い戦令であった命そ がせたが光端よく大搭戦を減じ

水安台頭の出

驛頭、燦として

輝く優勝旗

防火の大宣傳

全滿小學校對抗陸競大會に

鞍小再び覇を成す

白軍遂に覇権を握る

碧の空高

競技大會の成績

司尚將本石縣田田窟

おり北二條系線會所において會員 はり北二條系線會所において會員 が來認者艇る多數で書機に左の

惜別謠曲會

秋語の絶好運動日和に終まで総が単校隊上観技大會は

心怖の怪人魔

部下ご共に遂に捕る

撫順署近來の殊勳

様を得いでは、一部に分二で 頭目。天下好。

原動し、内にであるを はいて、 のでは、 のでは、

3

5

海陸鮮

70

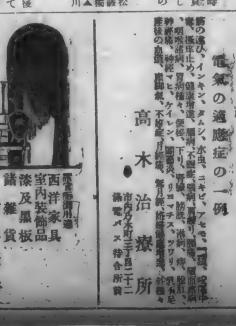
を 秋は先ず弊店から オール アドーセール モスリン界の 新王 洋犬セール ブドーセール もスリン界の 新王 ブロリー クレーヤ で切る秋冬の服飾断然所外をリードする自信を以て背標を開待ち して居ります カフェー 井メの共一の 御ナ立し 糖片 FIL: 2 (1 3 を設定されています。

石炭商 物 御 浦 問 用 屋 達 鉾 內出張所



(株)につき臨職する職的つた ・ はにつき臨職する職的のた。 ・ はにつきにおいて、 ・ はにつきにいる。 ・ はにつきにいる。 ・ はにつきにいる。 ・ はにつきにいる。 ・ はにいる。 ・ はいる。 ・

四氏接拗 緩緩に乗続する
一個所取吉氏及び破山滿電支店長に 着任とた奥平坡直の兩氏は二十二 日官衙關係各方面市中有志を懸訪 日官衙關係各方面市中有志を懸訪 した岩澤猛氏及び武田政次以も二 した岩澤猛氏及び武田政次以も二





解が成立 のでは、 一般市民は観る無常してゐる 多十二回陸上大運動會を繋行する 多十二回陸上大運動會を繋行する が全生徒は緑日都擬技練者に熱狂 が全生徒は緑日都擬技練者に熱狂

旅順 全 ゑびすや吳服店

一、日本毛織會社製 一、特製製造版でする型一、女學校制服地 一、紺サーツ切賣不 柄 流 行

鞍山運動會

新

二十八日舉行

~~

新市街出暖所 堂書店

運動具 と服装 支店。

旅 自轉車の

一一萬四千五十六人也

・一千米メドレー タレー 日米)西川(三百米)堀(四百米) (タイムニ分十二种三)

秋季大祭の 間並に立山居住職舎者全・制十時より午後三時まで より三時まで(戦いて鞍山一間並に

田村商會旅順古 御用は

世より密想を執行し世四日は午前 中時より密想を執行し世四日は午前 中時より密想を執行し世四日は午前 中時より密想を執行し世四日は午前 中時より密想を執行し世四日は午前 餘馬で脹ふ

金く際突さ何等態らないやうにな

太公望の群

祭日の賑ひ

憲兵上等兵修業式

日も物かは

1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 |

一 大変は北なる基盤さ行成で 一 大変は北なる基盤さ行成で かしいづれし級三糖がの値下 かしいづれし級三糖がの値下 で表は北なる基盤さ行成で である基盤で行の物合は づれも約三割方

太郎二男勝之十三日出生三郎六男祿市十五日出生三郎六男祿市十五日出生三郎六男祿市十五日出生

では二十三、四日の南 では二十三、四日の南 では大響へ申込むべしさ と午 最近満電で費出とた交流受信機 送項目もなか / (面白は従来のものに比ら電池を要せざますが、及なるものさ、唯だ音々のみなら、の地の各所でして見るに家に進はす類る良好のす、小生も早達一選購入し試めさが出来ない、費に受して見るに家に進はす類る良好のす。此の點を何こかは日本が、単一でより、中でも「一京行進版」を新りの「一京行進版」を「中でも」、中でも「一京行進版」を「一方行道版」を「一方行道版」を「一方行道版」を「一方行道版」を「一方行道版」を「一方行版」を「一方行版」を「一方行版」を「一方行版」を「一方行版」を「一方行版」を「一方行版」を「一方行版」を「一方行版」を「一方行版」を「一方行版」を「一方である」

教育勅語煥發

与道大會

御して去ったが、三日目の置いな 脚鬼は命を醸するさ、直に風を 脚鬼は命を醸するさ、直に風を

室さいふ男の生死存

000000

等は奉天

炎類二十七點を強奪して迷りる。

のでは、火龍県人は繁曜の人さ ある日、火龍県人は繁曜政人さ 大に漂然さ継にやって来た。

満日案内

四十周年記念

大和校で各種の催

、 西省の郷夏に訪れて去ったあさで 大月初めに、彼の兄の連國憲ル陜

和服 機械明日 早屋東部 作本マデ電ニー 作本マデ電ニー に乗って 大助先知人良家

電話

さ金融

「ご命合ごうり、秘筆は花村にま

番です

ラシン語 電六六八四 電六六八四 電六六八四 電六六八四

出地の神に夢ねましたさころ、三 めに振へられ、山東の密安州に要 送されましたそうで、更に察安州 にまありまして彼ら兄弟のこさを

聖徳宗政婦附添結會電九七六家政 婦及附派婦喜業及派遣

五球三十八

物品 販賣員數名事業二十五

門札が順戸物へ

全龍 就生命保險證券に限り金

察署籌堂で開催無いの旅順地方は野調査が乗員が開始の旅順地方は野調査が乗員

のが一中チームは既に連戦連戦新 土曜日に決戦をなず譲定であることを行い、次郎は総々像勝聴に入 九郎ゲームを信ふ等で二十七日の野神スター野霊剛千歳の経試・一般の勇勝スター野霊剛千歳の経試・一般の勇勝スター野霊剛千歳の経試・一般の勇勝スター野霊剛千歳の経試・一般の勇勝スター野霊剛千歳の経試・一般の勇勝スター野霊剛千歳の経試・一般の勇能の一般であると

全旅野球リーグ戦

スポンヂ野球大會

◆・・・二十七日から開催

電解音半聯合會三十名 同八日來 高 同九日平旅の鎌定 、同 同九日平旅の鎌定 ・同 同九日平旅の鎌定

角力を劈頭に

日五時二十七分景列車にて北四三十四分着の列車にて來公総裁は巡続機察のため二十七

たいまりますさい。 一般のがは電車さらのがは電車さられた。 一般のがは電車さられた。 一般につった。 一般に対している。 一般に対してい

英語の個人及グラス教授

チチをする一変明六〇六九二番

印書即郑

さ命名子・勅語中の語句より渓出し濟美閣・勅語中の語句より渓出し濟美閣

石滿鐵總裁

あす來公

驛の新試み體育週間

が表して ができる者を解する。 を主演した。 をできる者を解する。 をできる。 をいまする。 をいまる。 をいる。 をいまる。 をいな。 をいまる。 をいまる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をし

軍人會の射撃

事態に依つては

外交問題に

富士紡安東工場の納稅問題

米澤領事解決に着手

は天美の部合で延伸されて厚たが は天美の部合で延伸されて厚たが 世八日に賞値することに決定した 監目最高監射手には聴合支部長三 でも外統部をの監験エタル其の他支 部長の電験五名忠陽分會から既教 でも外統部をの監験メダル其の他支 でも、大きのである。 では、大きのである。 では、大きのでは、

全滿商議大會

明語家な連城監のこさだけは、精神で海沢歌の頼を紹んだ心の光神で海沢歌の頼を紹んだ心の光神のでは、山西のと

組合總會

借るの思から使

最の三斑が

場選手決定

において廿八日全議庭職大會において廿八日全議庭職大會 (三年)安成 横川村田 學堂生見學

滿庭球大會

登 にふれて聴め出した。 ・ 本語師から下山して天下を開行 にふれて聴め出した。 ・ 本語師から下山して天下を開行 を行って見ようかなかさ思ったのであったが、それも心い識月を終 を行って見ようかなかさ思ったのであったが、それも心い識月を終 を たこさだし、繋して今でもそこに できて見よう。さかさ二階鬼の できして見よう。さかさ二階鬼の できして見よう。さかさ二階鬼の

をしてとまうで、いいか」 機不確はたいへんよるこんだ。 をしてとなうで、いいか」 をしてとなった口跡を一々よく動 一職鬼を出して

廿八日舉行 意の映畵 宮憲兵隊長 けふ小學校で

を往來して、僅か三

党家 本北須町四二ノ一階上

を修察して来たので

大家 住宅新餐二階電岩狭町一 殿附家賃三十五個電六八七三番

念は二幽鬼の努力

大学 (住宅、 保家・一年 では、 大工 では、 大工

西公園町六九 電話八二〇三番

電話三〇四九番

7

祖立

小學校職堂において開催、 小學校職堂において開催、 「火山の話」一卷、 「火山の話」一卷、 「火山の話」一卷、 「火山の話」一卷、 「火山の話」一卷、 「火山の話」一卷、 「火山の話」一卷、 「火山の話」一卷、 「火山の話」一卷、 「火山の話」一巻、 「火山の話」一巻、 「火山の話」一巻、 「火山の話」一巻、

では質慮天戦を置いて行くからおればれてが、 前は山線野総なごのあやしいものなければならない。 だらこれを守ち なければならない。 だらこれを守ち なが答覧で形態内に対像はするが をが答覧で形態内に対像はするが とが答覧で形態内に対像はするが とが答覧で形態内に対像はするが こしても立ちごころに氏臓さする

又指揮定身師ち始を信りて身を 大字 南山麓橋町一五二南向 では、一手カ付 電話三八八三鷹 郷階下六二二 では、一手カ付 電話三八八三鷹 郷間・六二二 では、一番 では、 一番 **模花** 一一三上详 **林春** 性睾丸 碳炎 クサ 及胎盤の特効機有まず モミ 拠治側温みの方は 楽はヒシカワ薬局

電話七八九三番へ

電話六六八八番へ

姙

が 乳 兄 の 大連市美濃町五七番地 ・ 大連市美濃町五七番地 「不要主便、大小住宅地で店舗歌地であり、 「宋班主便、大小住宅地で店舗歌地であり、 「特別盃出所、小學校に接近し、自動車車庫、 「特別盃出所、小學校に接近し、自動車車庫、 「特別」「「「「「「「「

迎勤家政婦 (解外國)一日一圓 完體質迅速速通 管 信 電四美麗町五六二六番、二六番、 事事 カワセ洋行

ウークの大学を発生する

カー筋荷着物裏内ワ 皮 情 病 (編 新

醫院

註文殺到◆

整整性 香素病 院

中書 邦文タイプライター 自動 山藤適日本タイプライター印書 ・ 電話八四七一番 春日町電三八五六

満洲託児所婦人同情 の御入用の節は

アツミ

大連 to 海 to 市 to

告野町電話四六二七番

智字 速成教授

英語教授

拓茂洋行 電話五四三九香

白帆高級お化粧紙は

できた。 さへわれば的変も間を往來しても さへわれば的変も間を往來しても があるが、之れ 整紙 物長の三山島紙 物中に家庭向篠用の生液

天帆高級輪生流が使紙は

ニチ ロバン 電話代が八の番 渡途町一丁目高速、日報洋行 西海県高俣東人 古道県高俣東人

専門のヤナギャへ専門のヤナギャへ 配達迅

配達迅速



旅行季節 海に へあれ 氣候が 山* 肌を荒さずしつと してものミック石絵 £.

が

ŋ

た

する

后輪!

工場組織の完成

厚。

不斷の科

舖本 店商屋見丸〇 京東

水が變つて

獨逸の大戦中止は國調に基因

國勢調査物語り

の後のびくくさなってあたが、 た脚する控制が出来たが三十七、 大峰の聴興のため戦齢出来で、。

東る十月一日にわが風帯三回目で 東る十月一日にわが風帯三回目の

通り周の然を減るのだが一国の土 本年は恰近十五回目の調査を行う ある、だから識が画では離分的く 密をも形れた関勢調査を干八百八 ある、だから識が画では離分的く あるが、ドイツでは特殊な衝突順 ある、だから識が画では離分的く あるが、ドイツでは特殊な衝突順 ある。だから識が画では離分的く 密をも形れた関勢調査をやつて ある。だから識が画では離分的く 密をも形れた関勢調査を行う ある。だから識が画では離分的く 密をも形れた関勢調査を行う

番の悩みは

如何に衝襲な

を州民政立器では残る間目なった。 を州民政立器では残る間目なった。 三幅山三端士の歌歌疾を得ふが、 三幅山三端士の歌歌疾を得ふが、 三十日に執行

三烈士の

口

P

1/8

きのふ中央公園

實業勝

業門球與



連長ら七 二萬元を强奪逃走

突如、熱河省新阜駐屯旅兵が謀反 豪遊中を逮捕さる

庭球大會

十月五日舉行

アマチュア

関連で廃葬した名は廿四日撃天へ護送して来た、謀叛者の願長は行方不明である。 そい中の世名(熈長そのは連長の寛奈)が突然跳放し速長以下七名を射線し班大洋三萬才るや、そい中の世名(熈長そのは連長の寛奈)が突然跳放し速長以下七名を射線し班大洋三萬子等電廿五日孁別熱河省新阜駐屯第十四族の連阜以下七十名が打通線新宮屯縣に向と途中新版に天神の 邦人會社の賃銀 機器されてゐる

ウ博士の 謝恩會 (1) 御沙汰

近來勞資爭議は絶無

金建制へ

『東京二十五日登電通』 本人に知られてるる、陳士は明治 本人に知られてるる、陳士は明治 二十一年値か二十五歳の時來朝も て以來六十七歳の今日まで四十二 年の是年川に取って日本人子菜の 年の是年川に取って日本人子菜の 年の是年川に取って日本人子菜の 年の是年川に取って日本人子菜の

を押人整修事業におい

員一行入城 關東廳視學會

天の際は第二日曜)午前八時より 大の際は第二日曜)午前八時より WEE と 15・10 はれるが、本年接触の大會さばれるが、本年接触の大會さばれることであらう、

强豪早

學リーグ戦の早大統法政第一限隊 【東京二十四川景電通】常都六大 帝都六大學リ

體協主催の 水泳記錄會

凝小銃射擊大會

來る廿八日午前八時年から

大連市民射撃場で

着金光弘 〇 分

て大いに動様されてゐるで 鹿見島の大火

二十七戶燒~

日午前三時五十分市内天文館通り 日午前三時五十分市内天文館通り り客旅館融ポカフェー等三十七月 一十五帳館・日前で大大では、同所は市 一十五帳館・日前で大大では、同所は市 一十五帳館・日前で大大では、同所は市

殺人掠奪を擅にした 天下好。ら四名逮捕 撫順潜入を採知大交戦のう 多数の武器をも

早回法事 大数体 0-0 0二1 0三0 さて投手楽制琴に刺るれ西

に初雲が降り無滅は零かのラニチナヤから横 氣温さがる 割烹研究組合 弘〇分三 郎二分 勉二分

北滿

神組令長山本一派が、新窓院祭札 合さ稱し現在の飲食店組合さ同一 創立は認めぬ

が、大連製学が原では同一製版の をのが二つの組合を作ることは所 が、大連製学が原では同一製版の をのが二つの組合を作ることは所 をである。 部にて全地歌場に慰賞附レースを も単脳中であつたが黙賞附レースを も単脳中であったが黙賞附レースを 電車正面衝突 數十名重輕傷

野信されたが記録は左時より大建運動場プー

解験百四號電車ご正廊航突し乗客 無数式では全部階級は近ふたが附近 なな数十名では全部階級は近ふたが附近 奉每社主葬儀 來る廿九日執行

催物も盛 人連神社の秋祭 來る卅日から三日間 沙河口神社は二日間 ん

岛川夏中 村浦

三氏部門、大川キックオいて炭膿(土散)高倉、砂川大連川

原の病 (大きに変なる) (大きに変な

シースンビ

大連大山區

の話に表立った方

月岡田保持石川田瀬瀬村野名楊尾

近日開店

押取したからる多数

土松平新遊大金剛古島今浦星高峰 天津名産 一粒撰の甘栗を

本日勝手ながら

日本各地名産

大班龍場供勢部より沙河口撃を経した。 臨時競馬 廿七日から開 初御取計ひ申します。

#HHK!

栅卸勘定□本休業仕候 界各國酒類 東京風菓子隆製 の。店 000

帰鐵の猛襲に きのふのラグビー して血液の



人もるこ 大日本麥酒會社特

若断交響たばた 新米金面的 升二十四銭

*天 滿蒙毛織城會 直廣所 奉天浪速通十 類、特價見切品豐富 一、品種 紳士服地、婦人子供服她、學生

經痛外用藥

各種サージ、羅紗、毛布領機掛

一、日時 百九月二十八日(日 壁 克五日間 一、場所 新市街浪速通十九番地 賣所關紀念大声

新安值炎表 A

情に世堂が擦へ十三日報天に自衆職 中去る七月廿六日永職し去月来職 中去る七月廿六日永職し去月来職 中去る七月廿六日永職し去月来職 中去る七月廿六日永職し去月来職 中去る七月廿六日永職し去月来職 冬の御仕度に只今川